

# さわやか広場

## ～みんなあつまれ～

発行者  
社会福祉法人 直心会  
特別養護老人ホームさわやか園  
サービスセンターさわやか園  
在宅介護支援センターさわやか園  
住所  
青森県平川市日沼樋田85  
TEL  
0172-43-5432  
FAX  
0172-43-5433  
編集  
さわやか園 広報委員会

講座の中で行われた  
認知症についてのお芝居の様子



認知症の事例と対応について  
解り易く紹介されていました

認知症とよく聞く言葉ですが、では、どのような症状で、それに対してどのように対処したらよいのか、在宅では困惑しているのが実情でしょう。

そのようなことを少しでも解消する目的で、さわやか園では、平川市の依頼を受けて「認知症サポーター養成講座inさわやか園」を六月三十日に開催しました。

この養成講座には、認知症に対する関心が高いことを示すように、近隣市町村から定員一杯の人たちが参集し、サポーターとして活動するための知識を習得していました。

### 認知症について

特別養護老人ホームさわやか園

園長 池内 善次郎

現在では、認知症といっても新聞等のマスコミでも大いに取り上げ、またTVドラマなども放送されており認知は広まっておりますが、認知症についての正しい知識と理解を深めることは、まだ状況が整っているとは言えないのが現状でしょう。

認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるものですが、これから、団塊の世代が高齢者となっていく時には、飛躍的に人員の増加があると予想されています。今や超高齢社会を迎えようとしている日本にとっては、認知症に対する取り組みの強化を行うことが緊要であり、認知症対策は、今後の重要課題に位置付けられると思います。

### 認知症サポーター養成講座の様子



33名の方が講座を受けられました



さわやか園大運動会

六月十四日(日)晴天の下、さわやか園大運動会が園駐車場にて行われました。

園長からの開会の言葉の後、特養を代表して渡邊ツマさん・成田いとしさん、デイを代表して葛西ヨツエさんに、元気良く選手宣誓をして頂きました。

まず最初の競技は、動物レースです。この競技では、素早くボードをめくり、その動物のお面を選ぶことと、お面の動物の鳴き声を真似するという、速さと正確さを求められます。利用者みなさんは、練習どおりとても上手な鳴き真似を披露してくれました。

次におなじみのパン食い競争を行い、その後休憩を挟み、後半戦は綱引きから始まります。綱引きには、ご家族や職員も参加します。年に一度の運動会なので、みなさんとも力が入っていて、翌日の仕事や家事に支障が出ないかちよつぱり心配になりました。



次に尋ね人レースを行い、勝敗の決まる最終種目は色合わせレースでした。色合わせレースは、一定の時間内に、スタート地点で引いたくじに書いてある物の色と同色の筒を、横一列に並んで座った利用者の前に張られた紐に通し、最後の人のところまで送っていく競技です。利用者みなさんは、日頃の練習の成果を発揮し、次々と手際よく筒を送っていました。

最後の競技を終え、さわやか園大運動会は白組の逆転勝利で幕を閉じました。ボランティアの方々も多数参加頂き、段取りや進行等良くなった点もありましたが、まだまだ改善すべき部分にも気づかされた運動会でした。気づいた点は早速次に活かし、利用者みなさんに心から楽しんでいただける行事やサービスを提供していきたいです。

(特養事務員 神 佐斗子)

特別養護老人ホーム

年間行事予定

四月 桜まつり (猿賀公園)

五月 野外機能訓練：2回実施 (デパートショッピング)

六月 運動会

誕生会&ゲーム大会

七夕

野外機能訓練：2回実施 (デパートショッピング)

八月 ねぶた祭り見学

納涼祭

誕生会&敬老会

十月 紅葉見学

十一月 文化祭

野外機能訓練：2回実施 (デパートショッピング)

十二月 誕生会&クリスマス

一月 もちつき大会

二月 節分 (まめまき)

三月 誕生会&ひな祭り

※ 毎月1回：外食会実施



デイサービスセンター

年間行事予定

四月 お花見

ドライブ (道の駅見学)

五月 野外機能訓練 (デパートショッピング)

六月 運動会

社会見学

七月 野外機能訓練 (デパートショッピング)

八月 納涼祭

野外機能訓練 (蓮の花見学)

九月 敬老会

十月 紅葉見学

十一月 文化祭

野外機能訓練 (デパートショッピング)

十二月 忘年会

一月 新年会・もちつき

二月 節分

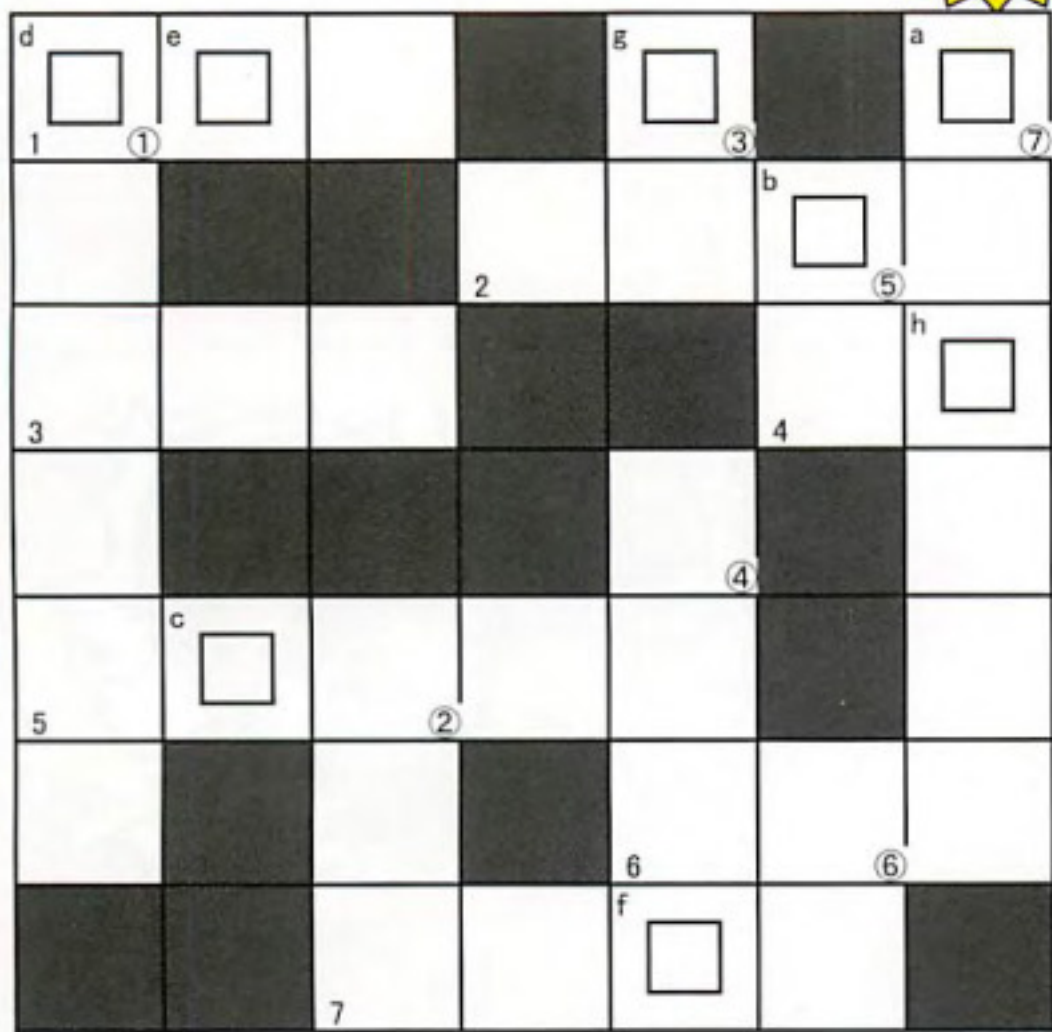
三月 ひな祭り





さわやかワード

復活!



ヨコのかぎ

ヨコの1  
さわやか園は平成13年に開設し、平成23年で〇〇〇年目を迎えます。

ヨコの2  
新型インフルエンザやO-157、結核等の〇〇〇〇〇症には充分注意しましょう。

ヨコの3  
卯月、April。さわやか園の創立記念日があるのもこの月です。

ヨコの4  
県道に市道に村道。さわやか園にもいろんな〇〇が通じています。

ヨコの5  
さわやか園の委員会の1つ。〇〇〇〇〇委員会。花壇の整備や地域の清掃活動などを行っています。

ヨコの6  
足で身体を支え、重心を前に移動させて前進すること。さわやか園でも平行棒等を使って訓練しています。

ヨコの7  
さわやか園の委員会の1つ。〇〇〇〇〇委員会。運動会や納涼祭、文化祭の企画運営を行います。

タテの①  
社会福祉法人〇〇〇〇〇〇〇〇。さわやか園を運営しています。

タテの②  
和金に出目金、赤や黒の可愛い〇〇〇〇ヨ。ヒブナを観賞用に交配させて生まれました。

タテの③  
最近報道も下火になった、新型〇〇フルエンザ。この冬もまた流行するのでしょうか？

タテの④  
さわやか園の委員会の1つ。〇〇〇〇〇委員会。広報誌の発行や、ブログの更新をはじめました。

タテの⑤  
アブラにクマにニイニイ、ツクツクボウシにヒグラシ。ちよっ五月蠅い夏の風物詩です。

タテの⑥  
〇〇成語。古い出来事に基づいて成った言葉です。矛盾に杞憂、推敲や完璧もこれですね。

タテの⑦  
アルツハイマー型や多発性脳梗塞型があるこの病気。周囲の理解と支えが大切です。

タテのかぎ

問題：さわやか園が創立10周年を迎えるのは西暦何年？

		a	b	c
d	e	f	g	h

答えのわかった方は、はがき又はFAX等で、住所・氏名・電話番号と、aからhにあてはまる解答を明記の上、さわやか園までお送りください。10名様に（正解者多数の場合は抽選で）ささやかなプレゼントを用意しております。尚、締め切りは8月30日17:30必着とさせていただきます。又、当選者の氏名は広報誌さわやか広場にて発表となることを予めご了承下さい。

前回の答え：第1問 × 第2問 × 第3問 ○

葛西 照子様

菊地 テツエ様

工藤 洋子様

大平 章子様

以上4名の方に、おいしく栄養の摂れる紅葉饅頭セットをお届けしました。ご応募ありがとうございました。



さわやか園では春になると、環境委員会が花壇やプランターに様々な花や野菜等を植えていきます。秋までの間、その花たちは、通り掛かる人の目を楽しませてくれます。今年には花壇の中央にラベンダーの苗を植えました。

ラベンダーの花壇



植えたばかりなのでまだ少ないながらも、可愛い紫色の花を咲かせています。

花壇いっぱいにはラベンダーの花が増えるのはいつになるのでしょうか？利用者のみなさんと一緒に、紫のラベンダーでいっぱいになった花壇を早くみたいです。

（特養ケアマネ 豊巻 友子）





## 七夕祭り

七月七日(火)、地域交流スペースにおいて特養の七夕祭りが行われました。初めに、司会より七夕についてのお話を聞き、その後全員で『七夕さま』の歌を合唱しました。

今年の織姫は大里チヨさん、彦星は池内健司さんでした。大きな拍手のなか登場した二人は、会場のみなさんの前で一言ずつ挨拶をしてくれました。

また今年の七夕祭りでは、田舎館村から手踊りの会のみなさんにお越しいただき、手踊りと歌の披露がありました。それをみた利用者の中には、終始笑顔が絶えない方や、感激のあまり泣いてしまう方もいました。

最後にもう一度『七夕さま』を合唱して、今年の七夕祭りは終了となりました。みなさんの願い事が叶いますように！

(特養介護職員 相馬 沙緒里)



また七夕の日の夕食には、三色そうめんの澄し汁が提供されました。

みなさんの願いが叶えられるよう、天の川に見立てたそうめん、利用者のみなさんは舌鼓をうつていました。

(特養調理員

稲葉 絹子)



## 食中毒警報発令！

腸炎ビブリオ食中毒警報が発令されております。腸炎ビブリオは生の魚介類に付着する菌で、他の菌の倍以上の速さで増殖するといわれ、七月から八月に猛威を振るう傾向があります。

生の魚介類を扱う際の注意事項としては、

①買い物時には最後に購入し、氷を入れて持ち帰る

②冷蔵庫や冷凍庫で保管する

③水道水で十分に洗って調理し、まな板等は熱湯消毒する

④調理後はすぐ食べる

などがあります。

みなさん以上のことを心掛けて、この夏を乗り越えましょう！(もちろん他の食中毒にも注意して下さいね！)

(特養調理員 稲葉 絹子)



## 社会見学

デイサービスでは、六月下旬に、弘前の追手門広場へ社会見学に出かけてきました。広場内には市立観光館をはじめ、山車展示館・郷土文学館・旧市立図書館等が整備され、観光・文化の拠点となっています。

広場に着くと、まずはじめにミニチュア建造物を見学しました。明治・大正時代に弘前市内に実存した建造物が、約十分の一サイズで展示されています。



利用者のみなさんに人気があったのが『かくは宮川』のミニチュアで、「昔、買い物きたなあ」と懐かしそうにみていました。山車展示館では、津軽剛情張太鼓のあまりの大きさに驚き、記念に写真を撮りました。その他にも歴史を感じさせる山車が色々と展示されており、山車をよく知る利用者の方が、詳しく解説をして下さり、楽しく見学をすることができました。郷土文学館では、津軽を代表する詩人や小説家の貴重な資料を見て回りました。最後は観光館に寄り、津軽せんべいなどのお土産を買って帰ってきました。天気にも恵まれ、津軽の歴史と文化に親しんだ一週間でした。

(デイ介護職員

樋口 直樹)

